

湿性多孔質軽量人工土壌

ビバンイル



東邦レオの人工土壌 ビバンイル

泉佐野文化センター 人工地盤植栽(大阪府)
設計 (株)東畑建築設計事務所

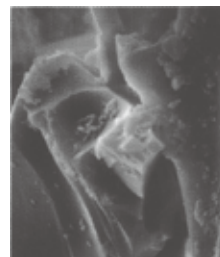
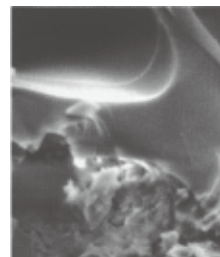
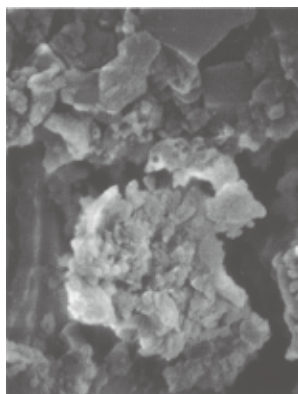
●ビバンイルの特性

粒径分布	湿潤比重	pH (H ₂ O)	陽イオン交換容量 (CEC) cmol (+) /kg	有効水分保持量 (ℓ/m ³)	飽和透水係数 m/sec
20ミリメッシュ 80%通過	0.80±0.12	5.0~7.5	6.0以上	390±50	1×10 ⁻⁴ 以上

ビバソイルとは

ビバソイルのVIVAは「生き生きとした」という意味です。活力があり、潤いのある緑が、都市に手軽にローコストで導入されることを目的に開発された軽量人工土壌です。

ビバソイルは、湿性多孔質鉱物に、有機養分をはじめ、植物の育成に必要な成分がプレミックスされています。その構造は、右の写真のように無数の孔隙が連通しており、植物に必要な有効水分を多量かつ長期間保持します。植物にとって、過酷な環境条件下の都市緑化にまさに打ってつけの人工土壌です。



ビバソイル(湿性多孔質軽量人工土壌)の構造 真珠岩パーライト系人工土壌の構造 火山礫質人工土壌の構造

ビバソイルの特徴

1. 近自然型土壌

ビバソイルは、有機分を約10%前後含む土壌生態系循環型の人工土壌です。色合いも自然の土壌に近く違和感がありません。

2. 軽量性

ビバソイルは、pF1.8時点の湿潤状態の見掛け比重が0.8前後と一般の土壌に比べ約1/2の軽量性です。建築構造物に大きな負担をかけることなく、人工地盤緑化ができます。

3. 飛びにくい

ビバソイルは、湿潤状態で搬入されます。しかも礫状のため施工時の飛散の心配や周囲の汚れもなく、養生も簡素化されます。

4. 安全

ビバソイルは、水質汚濁防止法による排水試験や皮膚刺激試験、経口毒性試験など、安全性を実証するための様々な実験を行っています。

生育比較試験

生育の状況を観察するために、植栽に広く使われている①黒土(左)と②ビバソイル(右)との間で比較実験をおこないました。それぞれにビバソイル区での生育がよいことがわかります。

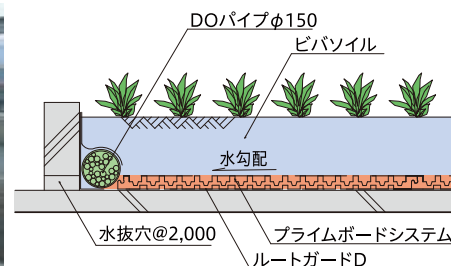


ヒマワリ



トウモロコシ

ビバソイルの人工地盤上施工実績



ビバソイルの外構植栽への応用 (自然土にかわる新工法)



しあわせ環境クリエイター
東邦レオ株式会社

東京事務所 〒171-0004 豊島区北大塚1丁目15番5号 TEL(03)5907-5500(代) FAX(03)5907-5510
大阪事務所 〒540-0005 大阪市中央区上町1丁目1番28号 TEL(06)6767-1110(代) FAX(06)6767-1263
名古屋事務所 〒453-0056 名古屋市中村区砂田町2番1号 TEL(052)419-1860(代) FAX(052)419-1861
福岡事務所 〒812-0888 福岡市博多区板付5丁目10番18号 TEL(092)687-7120(代) FAX(092)687-1650

ホームページURL <http://www.r-green.jp/>

パートナー